



志津見ダムにおける河川空間のオープン化

資料－3

国土を整え、全力で備える
国土交通省 出雲河川事務所

志津見ダム水源地域では、様々な地域資源を活かし、地域に暮らす人々が自らの幸せな将来のために力をあわせて、流域全体と連携しながら地域の活性化を進めていくことを基本理念として「志津見ダム水源地域ビジョン」を策定し、国、町及び地元団体等から組織された「志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会」を通じて、地域の活性化を進めています。

これまでも、毎年6月にポピー祭、毎年10月にコスモス祭などのフラワーイベント開催、島根大学生との田舎体験交流などに取り組んでいます。また、平成28年度から「ダムを活用した特産品の開発」として“ダム貯蔵酒”を試行してきました。7年間の試行を経て、現在では斐伊川流域の酒造会社である李白酒造と連携して実施しています。

ダムの一部エリアが「都市・地域再生等利用区域」に指定され、“河川空間のオープン化”をすることにより、民間開放による志津見ダムの利活用が可能になります。今後さらに、上下流域の地域間交流が促進され、志津見ダムのPR及び地域の賑わい創出に繋がるような様々な取り組みが展開されることが期待されます。



「河川空間のオープン化」とは

河川空間は、公共空間であるため一般自由使用を原則とし、民間事業者等による営業活動を行うことができません。

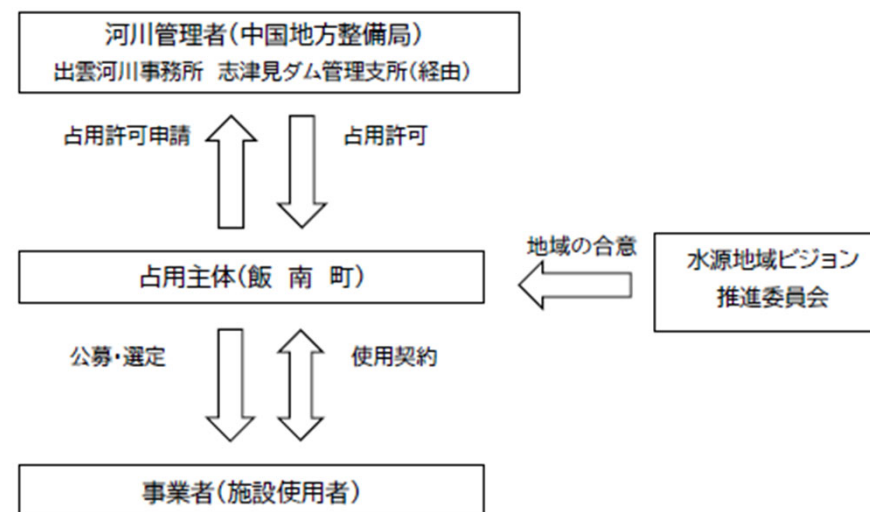


“地域の合意”を得ること等を要件として、「都市・地域再生等利用区域」に指定されたエリアで民間事業者等による営業活動が可能になります。

「河川空間のオープン化」のメリット

- ◎これまでの一時的なイベントだけではなく、多様なニーズの営業活動が可能になります
- ◎指定エリアでの占有者（飯南町）から国への占有申請が一本化されます（既存占有の一本化）
- ◎占有者（飯南町）が使用者を利用調整することにより、地域のニーズに対応したサービスの提供が可能になります

志津見ダムにおける事業スキーム



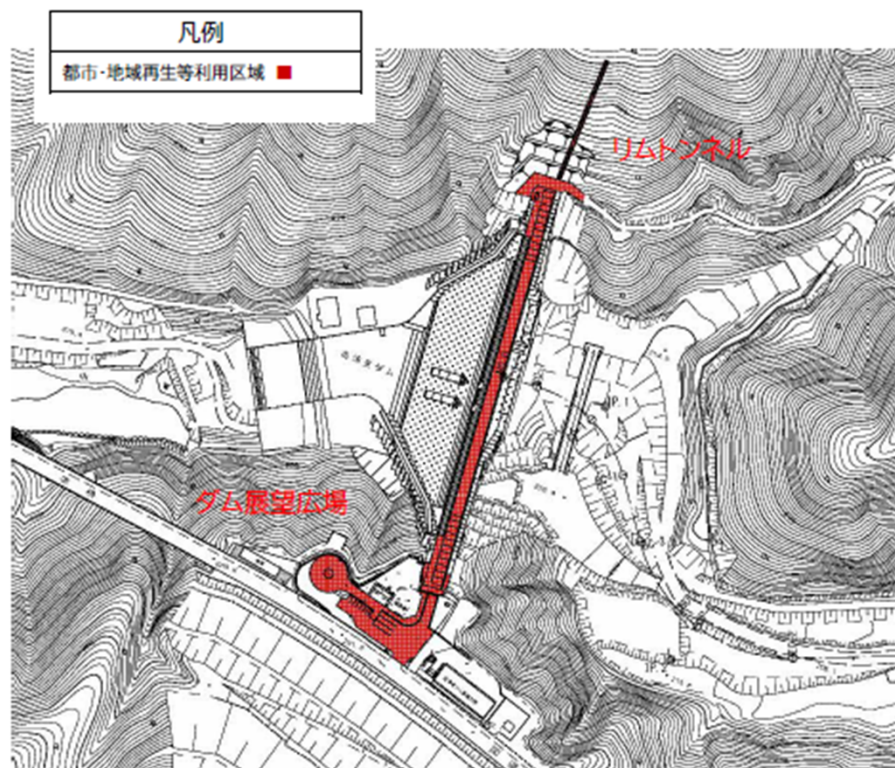


志津見ダムにおける河川空間のオープン化(指定エリアと活用イメージ)

国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省 出雲河川事務所

① 志津見ダム及び周辺施設

ダム堤体内・リムトンネルを使った酒や野菜・加工品などの貯蔵、
ダム展望広場でのイベントの実施、飲食物の提供及び物品の販売、
ダム関連施設を活用したアクティビティ、EV 充電スポット整備



貯蔵酒

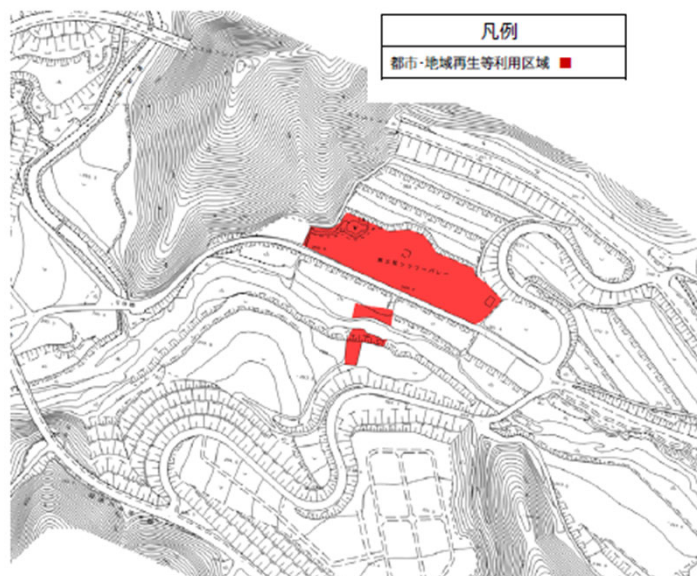


サツマイモの貯蔵



② 東三瓶フラワーバレー イベント広場

フラワーイベント(ポピー祭・コスモス祭)などの開催、飲食物の提供及び物品の販売、
小堰堤を活用した水辺イベントの開催



③ 神戸の森・多目的広場

神戸の森(自然公園)・アジサイの活用

志々桜広場(水辺公園・多目的広場)でのイベント・交流事業実施

